

## 会 議 結 果 報 告 書

会 議 名 称	政策会議	
日 時	令和4年11月8日(火) 午後1時30分～午後2時45分	
場 所	本庁舎3階3A会議室	
出席者	出 席	市長、内田副市長、高橋副市長、教育長、政策部長、総務部長、上下水道局長
	事務局	総合政策課長、課長代理(政策調整担当)、担当 陪席：秘書課長

議題1：秦野市小児医療費助成事業の所得制限を撤廃することについて		
担当部課等	子育て総務課	
説明者	こども健康部長、子育て総務課長、子育て総務課課長代理(手当・助成担当)	
提案理由	付議事案書「目的・必要性」のとおり	
決定等を要する事項	付議事案書「決定等を要する事項」のとおり	
会議経過 (説明・意見等)	<p><b>【説明】</b> 資料に基づいて説明</p> <p><b>【質疑及び意見等】</b></p> <p>問. 東京都が助成対象を高校生まで拡大することだが、他に助成対象を高校生までとしている道府県はあるか。 答. 厚生労働省の調査によると、福島県、鹿児島県、静岡県及び鳥取県が助成対象を高校生までとしている。</p> <p>問. 神奈川県の子育費助成対象についてはどうか。 答. 神奈川県は助成対象を未就学児までとしており、現時点で対象を引き上げる動きはない。県内市町村は、地域の特性に応じて、それぞれ助成対象を定めている。</p> <p>問. 地方自治体の小児医療費助成事業に対する国の財政支援についてはどうか。 答. 同事業に対する国の財政支援はないため、支援制度の導入について継続的に国に要望している。</p> <p>問. 助成対象の拡大に当たり、条例改正案の提出を令和5年3月、施行を同年10月とした理由は何か。 答. 助成対象の拡大に伴う新たな対象者の確認作業に一定の期間を要し、また、条例改正後のシステム改修に6か月程度を要するためである。</p> <p>問. 現在の所得制限対象となる額はいくらか。 答. 被扶養者が1名の場合、所得制限額は660万円である。</p>	

会議結果	原案了承
------	------

議題2：水無川「風の道」構想に定める構想路線について

担当部課等	まちづくり計画課
説明者	都市部長、まちづくり計画課長、まちづくり計画担当課長（都市計画担当）、まちづくり計画課担当
提案理由	付議事案書「目的・必要性」のとおり
決定等を要する事項	付議事案書「決定等を要する事項」のとおり
会議経過 (説明・意見等)	<p><b>【説明】</b> 資料に基づいて説明</p> <p><b>【質疑及び意見等】</b></p> <p>問. 構想路線の整備方針で定める道路幅員と、既存の道路幅員計画で定めている幅員が異なる場合の対応はどのようなか。</p> <p>答. 構想路線の区間については、今回の見直しを踏まえて関係課が協議を行い、道路幅員計画の改定等により対応したい。</p> <p>問. 構想路線の区間で、接道要件を満たしていない宅地への対応はどのようなか。</p> <p>答. 家屋の建替相談などの機会をとらえて、所有者と解決策等について協議することとしている。</p>
会議結果	原案了承

議題3：定住化促進住宅・ミライエ秦野を活用した移住お試し住宅を開設することについて

担当部課等	交通住宅課
説明者	都市部長、交通住宅課長、交通住宅課課長代理（住宅政策・移住相談担当）
提案理由	付議事案書「目的・必要性」のとおり
決定等を要する事項	付議事案書「決定等を要する事項」のとおり
会議経過 (説明・意見等)	<p><b>【説明】</b> 資料に基づいて説明</p> <p><b>【質疑及び意見等】</b></p> <p>問. ミライエ秦野を活用した移住お試し住宅の開設時の室数は1室としているが、室数を増やすことについての考えはどのようなか。また、開設に係る新年度予算の対応はどのようなか。</p> <p>答. 開設後のニーズを把握したうえで、必要に応じて室数を増やすことも検討したい。また、新年度予算には1室分の整備費用を計上する考えだが、年度途中で室数を増やす場合は、補正予算等により整備費用を増額して対応したい。</p> <p>問. 開設に当たり、入居者への対応についてはどのようなか。</p> <p>答. 入居者には事前に周知して理解を求めるとともに、影響が</p>

	<p>少ない階や室を選定するなど十分に配慮したい。</p> <p>問. ミライエ移住お試し住宅の利用希望者の募集はどのようなか。</p> <p>答. 上地区移住お試し住宅と同様に、年4回を想定している。</p> <p>問. ミライエ入居者の退去後の定住率についてはどうか。</p> <p>答. 退去者の約75パーセントが市内に定住しており、そのうち約50パーセントが市内に住宅を建築している。</p> <p>問. ミライエの入居率向上のための取組みはどのようなか。</p> <p>答. 市公式 twitter 等による情報発信、不動産展示場や都内の移住相談センターでの周知活動等のほか、上地区の移住お試し住宅利用者にも積極的に紹介している。</p>
<p>会 議 結 果</p>	<p>原案了承</p>